

平成 2 3 年行政事業レビューシート (厚生労働省)																	
事業名		退所者等対策経費			担当部局庁		健康局		作成責任者								
事業開始・終了(予定) 年度		平成14年度			担当課室		疾病対策課		疾病対策課 山本 尚子								
会計区分		一般会計			施策名		Ⅳ－3－2 難病対策、ハンセン病対策、エイズ対策を推進する										
根拠法令 (具体的な条項も記載)		ハンセン病問題の解決の促進に関する法律第15条			関係する計画、通知等		—										
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)		①ハンセン病療養所退所者給与金 ハンセン病療養所退所者の福祉の増進を目的とし、地域での生活に要する経費を支給。															
		②ハンセン病療養所非入所者給与金 裁判上の和解が成立したハンセン病療養所に入所歴のない患者・元患者(非入所者)の福祉の増進を目的とし、平穏で安定した平均的水準の生活ができるための経費を支給。															
事業概要 (5行程度以内。別添可)		①ハンセン病療養所退所者に対して、退所者給与金を支給。															
		②裁判上の和解が成立したハンセン病療養所非入所者に対して非入所者給与金を支給。															
実施方法		■直接実施 □業務委託等 □補助 □貸付 □その他															
予算額・執行額 (単位:百万円)		予算 の 状 況		20年度		21年度		22年度		23年度		24年度要求					
				当初予算		3,151		3,094		3,081		3,059		3,010			
				補正予算													
				繰越し等													
		計		3,151		3,094		3,081		3,059		3,010					
		執行額		3,023		2,977		2,910									
		執行率 (%)		95.9		96.2		94.4									
成果目標及び成果実績 (アウトカム)		成果指標						単位		20年度		21年度		22年度		目標値 (年度)	
		成果目標を示すことは困難。 本事業は、法律に基づき退所者及び非入所者の福祉の増進を目的とした給与金を支給するものであるため。				成果実績				—		—		—		—	
						達成度		%		—		—		—			
活動指標及び活動実績 (アウトプット)		活動指標						単位		20年度		21年度		22年度		23年度活動見込	
		活動指標を示すことは困難。 本事業は、法律に基づき退所者及び非入所者の福祉の増進を目的とした給与金を支給するものであるため。				活動実績 (当初見込み)				—		—		—		—	
単位当たりコスト		— (円／)				算出根拠		—									
平成23・24年度予算内訳	費 目		23年度当初予算		24年度要求		主な増減理由										
	国立ハンセン病療養所退所者等給与金		3,047		2,998		支給対象者数の見直しによる減額										
	ハンセン病名誉回復事業等庁費		12		12												
	計		3,059		3,010												

事業所管部局による点検			
	評 価	項 目	特記事項
目 的・予 算 状 況・予 算 の	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	
	－	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業ではないか。	
	－	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資 金 の 流 れ、使 途・費 目・	－	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	
	－	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	－	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	－	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活 動 実 績、成 果 実 績	○	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	
	－	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	－	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	－	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。	
	－	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点 検 結 果		・「ハンセン病問題の解決の促進に関する法律」によれば、国の隔離政策に起因してハンセン病の患者であった者等が受けた身体および財産に係る被害、その他社会生活全般にわたる被害の回復には、未解決の問題が多く残されており、ハンセン病の患者であった者等が、地域社会から孤立することなく、良好かつ平穏な生活を営むことができるようにするための基盤整備は喫緊の課題とされている。 ・退所者給与金及び非入所者給与金は、ハンセン病問題の解決の促進に関する法律第15条の規定に基づき、退所者及び非入所者に対し、その者の生活の安定等を図るために支給しているところであり、当該事業は適切に実施されている。	
	予算監視・効率化チームの所見		
一 部 改 善		ハンセン病問題の解決の促進に関する法律に基づく必要な事業であるが、予算効率化の観点から、事業実績を踏まえて退職者給与金等の支給対象者数を見直しなど予算縮減に努めること。	
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点（概算要求における反映状況等）			
ハンセン病療養所退所者給与金について、実績を踏まえて支給対象者数を見直し予算を縮減した。（反映額：▲49百万円）			
補記（過去に事業仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載）			

資金の流れ (資金の受け 取り先が何を 行っているか について補足 する)(単位: 百万円)	※平成22年度実績を記入
---	---

費目・使途
（「資金の流れ」
においてブロックごとに最大の
金額が支出されている者につい
て記載する。費
目と使途の双方
で実情が分かる
ように記載）

A.			E.		
費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0
B.			F.		
費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0
C.			G.		
費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0

支出先上位10者リスト
A.

	支 出 先	業 務 概 要	支 出 額 (百万円)	入札者数	落札率
1					
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					